

2022年度第二回町田市保健所運営協議会 会議録要約

日 時：2022年11月14日（月） 19：30～20：50

場 所：市庁舎 10階10-3～5会議室

出席者：堤 明純、林 泉彦、調所 勝弘、長崎 敏宏、関根 克敏、羽太 真由美、
金崎 章、川畑 一隆、中川 忠彦

町田警察署、南大沢警察署、町田消防署は代理出席

※長崎 敏宏、関根 克敏はWEBにて出席

※敬称略

要旨

発言者	内 容
保健所長 事務局	1. 開会 (1) 保健所長挨拶 ～資料確認～
保健総務課長 会長 A委員 健康推進課 統括係長 会長 健康推進課 統括係長	2. 議事 (1) 各課事業の2021年度実績報告及び2022年度事業計画 (資料1 保健総務課所管の事業について説明) 2022年度は図上訓練も実施したとのことですが、消防の方からは何かありますか。 素晴らしい取組だと思います。 (資料2 健康推進課所管の事業について説明) 予防に関連して、幼稚園や保育園にチラシを配布しているのはその 父母に配るという意図で使っているということによろしいですか。 さようございます。

保健予防課長 保健予防課 保健対策担当課長	(資料3 保健予防課所管の事業について説明)
B委員	限界突破レシピは、難しくなく簡単に作れる点が良いと思います。
生活衛生課長	(資料4 生活衛生課所管の事業について説明)
C委員	今年の春と去年の春とまだまだ新型コロナウイルス感染症が大変な中で、規模は小さいながらも集団接種(狂犬病)ができてよかったと思います。ありがとうございます。
D委員	食品衛生監視指導計画に基づく定期立入検査の実施、許可・届出施設に対し、965件の立入検査を実施と書いてありますが立入検査の結果についてはいかがでしょうか。
生活衛生課長	結果については特に問題ないと把握しております。
保健総務課 総務係長	(2) まちだ健康づくり推進プラン(第5次町田市保健医療計画)の進捗 (資料5 について説明)
会長	コロナ関係で大変だったと思いますし、今も大変だと思います。まだもう少し感染症の影響はありそうですが、昨年度できなかったところを今後どのように伸ばしていくか、お考えあるのでしょうか。
保健総務課 総務係長	狂犬病予防注射を再開したり、面談を行う事業ではWEBを活用したりしておりますので、このように少しずつ進めていければと考えております。
D委員	人と動物との共生という件ですが、最近目立って野良猫が本当に少なくなったと感じますが、狂犬病というのは今でも発生事例はあるのですか。
生活衛生課長	現在50年以上、60年近く、日本国内で発生した事例はありません。ただし、海外で噛まれて日本に帰国した後に発生した事例はあります。海外では毎年5万人死亡している病気です。哺乳類全てかかる病気のため、今後も用心していかなければならないと考えています。

保健総務課 総務係長	<p>(3) 保健医療意識調査結果の速報 (資料6・7 について説明)</p>
委員E	<p>資料7、203ページの幸福度の質問で、住んでいる地域によって幸福度が違ってくると思うがこういった分析がこれからどのように今後のものに反映されるのかお聞きしたい。</p> <p>また、181ページの災害時の医療について、医療体制の認知状況を見ると全然知らない方が相変わらず多く、町内会自治会の方としても何らかのアクションをかけるようなことがあれば是非一緒に取り組みをさせていただきたいと思う。保健所だけではなく、防災担当など、こういった取り組みがこういった形で検討されるようになるのか、考え方を教えてほしいと思います。</p>
保健総務課 総務係長	<p>幸福度は、これからクロス集計などで何らか傾向が見られれば活かしたいと思います。今は速報段階なので具体的なことは決まっておりません。</p>
保健総務課 担当課長	<p>災害時の医療体制は、医師会・薬剤師会と連絡協議会を開きます。現在は医薬品の備蓄を進めている状況です。市内には災害拠点連携病院が9か所あり、災害時には緊急医療救護所を立ち上げる計画になっています。災害が起きた場合は、地域の方が拠点病院へ殺到することが予想されるため、トリアージすることを考えています。体制については医師会と進めている状況であります。御指摘いただいた周知の部分については、まだあまり手をつけられていない部分であるため、今後ある程度体制が出来たら、自治会等とご相談させていただきながら進めていきたいと思っています。</p>
委員E	<p>災害に対する水や電池は自治会でも揃えられますが、もしちょっとした医療のものについても何かあるのであれば、自治会でも備えたいと思いますので、教えていただきたいと思います。</p> <p>これは今後の要望です。</p>
保健総務課 担当課長	<p>(4) (仮称) 次期まちだ健康づくり推進プランの体系図案 (資料8 について説明)</p>
委員F	<p>第5次、目標2の「栄養・食生活、食育の実践」が、第6次では「食で健康を支えるまち」となり、「望ましい栄養食生活の実践」と「食</p>

	<p>を通じて地域とつながるための支援」はこれまでなさっていたかと思いますが、「食に関する環境の整備」はすごく幅が広く、環境整備とは、健康に良いような食事がどこにあれば食べられるのか、どこに行けば自分にとっていい食物を選択できるのかといった環境整備をすることです。生産の段階から様々な過程で栄養のことを整備していかなければいけないというところがあると思っています。そういった健康な物を摂る「食のアクセス」という環境整備と、もう一つは情報提供があります。「いいものとは何だろう」ということで、学校とかそういったところでも説明されていると思いますし、今はインターネットとかいろんなメディアからの「情報のアクセス」はすごく幅が広いと思っています。2つ中心的にあるといった所でそれが片一方だけでもダメですし、両方上手くいかなければいけない、それを進めていくことに関しまして今後新たに行うことは、まだ具体的には全然決まっていないということですのでよろしいですか。</p>
<p>保健予防課 保健対策 担当課長</p>	<p>昨年度・今年度は研修等が新型コロナウイルス感染症の影響でできていなかったのですが、以前は市内飲食店の調理従事者を対象とした健康をテーマとした研修などを実施してきました。次期計画では今まで地域の事業者とネットワークを築いているので、地域の食材を利用した健康づくりや、食育ボランティアを活用した取組を行っていきたいと思います。相談に来られる方と一緒に何かできないかと考えています。</p>
<p>委員 F</p>	<p>色々と幅広い分野かと思いますが、よろしく願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>情報かつアクセスというところかなり広い話題ですので、色々と御助言いただければと思います。</p>
<p>委員 G</p>	<p>第6次は再来年からということですが、おそらくその頃には環境が変わってくると思います。これは要望です。 資料7のアンケート結果にあります。薬物乱用については「知っている」が9割でした。ただし、恐らく大麻や覚せい剤のことであり、市販薬の乱用は知らないのが現状なのではないかと思っています。今後薬物乱用の話になった時に、危険薬物系と一般薬の乱用は分けることとして、目標の文言には市販薬を入れてほしいと思います。様々な社会背景があって、若い人の乱用が増え、危険薬物から市販薬に移行しているようです。恐らく2年後はもっと進むかと思っています。この計画の時には、皆様が思い浮かぶ規制されている薬物だけ</p>

<p>保健総務課 担当課長</p>	<p>でなく、一般的に販売されている薬物も誤って使用すると乱用になるという啓発も必要だと考えます。</p> <p>今回はあくまでも体系図案なので、案を基に今後施策・目標部分を実際に作っていくこととなります。実際計画の素案ができるのは来年の7月の協議会で出す予定のため、また改めてご意見をいただければありがたいと考えております。</p>
<p>会長</p>	<p>目標3に掲げている、自殺対策については医師会からいかがでしょうか。</p>
<p>H委員 (※当日欠席であったため、事前にお預かりされた御意見をI委員が代読)</p>	<p>健康推進課の自殺対策は、この社会状況で町田市の自殺者が増加していないことなど効果が具現化されていると思います。特に自殺関連の言葉を検索すると相談先が表示されるのは増えている若者の自殺の抑制になっていることと思います。しかし、コロナ禍で社会的弱者の孤立は深刻でつながりを求める人は急増しています。SNSでつながって自殺未遂をした人もいました。そのような自殺未遂が過去にないほど多い状況です。未来に希望を持てる社会となることを祈っています。</p>
<p>会長</p>	<p>重点項目にも掲げられているため、是非また力を入れてほしいというお考えだと思います。よろしく願いいたします。</p>
<p>I委員</p>	<p>子ども食堂は市の計画のどこに入ってくるのでしょうか。微妙な問題ですが非常に大事な問題と考えておりますし、健康にも関わりがあると思います。</p>
<p>保健総務課長</p>	<p>子ども食堂は、子ども生活部の子ども家庭支援センターが情報のとりまとめをしていると記憶しています。子ども食堂は、想い、気持ちのある方々が地域・町内会・自治会などで始めています。それぞれが暗中模索しながら行っているため、相談先が必要になります。その窓口が子ども家庭支援センターとなっており、そこでご相談いただくと、市の方で先に実施している方などを御案内している。地域でネットワークを組んで、情報交換をしながらやっていくという役割をしていると思います。</p>
<p>I委員</p>	<p>4月からこども家庭庁が発足し、行政の縦割りがなくなりまとまってくため、逆に地方行政は対応が難しくなると思うし、線引きも難しくなる部分も出ると思いますが、行政の従来の取組の中で、抜</p>

会長	<p>けてしまう可能性がないように効率的な支援をご検討いただければと思います。</p> <p>広く捉えれば心身の健康につながることになると思いますので、何かの機会に連絡ができればと思います。</p>
	<p>4. 閉会</p>